

じしん つなみ いのち すく
地震や津波などによる災害時に、もっとも大切なことは人の命を救うことです。
どのような人々が、どのような思いで人の命を救う仕事を行ったのでしょうか。



ひがしにほんだいしんさい
東日本大震災のときに、どのような人々がどのような思いで、人の命を救うために働いていたのかについて話し合ってみましょう。

● 日本赤十字社や病院



写真提供：河北新報社

● 自衛隊



写真提供：七ヶ浜町

● 消防



● 警察



写真提供：河北新報社

● 海上保安庁



写真提供：読売新聞社

● 海外からの救援



写真提供：ホビージャパン

県外や海外からも
たくさんの方が応援
にかけつけてくれた
んだね。



ありがとう やまねこの湯

三月十一日 大地震 大津波
わたしの町も大きな被害を受けた
電気もない 水もない
お風呂にも入れない
すく大変だった

そんな時
やまねこの湯がやってきた
自衛隊のお風呂だ
これでお風呂に入れるぞ

わたしの家の裏の川から
水をくんでいく
やまねこの湯は 広くて 温かい
毎日入った

お風呂では鬼ごっこ
楽しいお風呂タイム
余震が毎日起きた
「また 地震が来たらどうしよう」
って言ったら
「おれたち助けてやるけん」
って言われた
うれしかった

自衛隊の人たちが来て
たくさんの方が元気になった

(作文宮城60号 特別編あの日の子と私たち)より